

教科名	地理歴史	科目名	世界遺産研究	年次	3年次選択	単位数	2
準教科書	はじめて学ぶ世界遺産 50						

1 担当者からのメッセージ

世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえない宝物です。現在を生きる世界中の人びとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。人類共通の財産・宝物である世界遺産を通して、国際的な教養を身に付け、持続可能な社会の発展に寄与することをめざします。

2 学習の到達目標

- ・世界遺産の意義・特徴・課題などを理解し、自然や文化の多様性を認識することができる。（知識・理解）
- ・世界遺産の意義・特徴・課題などについて考察し、それらを効果的に説明しまた発表することができる。
（思考・判断・表現）
- ・世界の歴史、文化に関心をもち、現代の諸問題について探究することができる。
（主体的に学習に取り組む態度）

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期	・世界遺産の概要	・ユネスコや世界遺産条約、世界遺産の種類、登録要件、などを理解する。
	中間	・日本の世界遺産	・日本の代表的な世界遺産について、その特徴・遺跡の持つ価値や歴史的な意義を理解する。
	前期 期末	・日本の世界遺産	・日本の代表的な世界遺産について、その特徴・遺跡の持つ価値や歴史的な意義を理解する。
後期	後期	・世界の世界遺産	・世界を代表する世界遺産について、その特徴・遺跡の持つ価値や歴史的な意義を理解する。
	中間	・指定後の課題と今後の候補地	世界遺産の今後の課題について考察する。
	学年 末	・西濃地区、岐阜県の遺産	・地元の歴史的な遺産について探究する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界遺産についての学びを通じて、自然や文化の多様性を認識し、異文化を理解することができる。	世界遺産の意味や意義、特色などを考察し、それらを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	課題を主体的に探究し、日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて気付くことができる。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・レポート課題・授業内小テストの成績、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…40% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…30%